

平成 26 年度第 1 回霞ヶ浦自然観察会結果報告

宝篋山の春の植物

「スプリングエフェメラルで春を満喫」を実施しました。

開催日時：平成 26 年 4 月 19 日（土）9 時 30 分～15 時 50 分

開催場所：つくば市小田宝篋山

参加者：33 名

今年度最初の自然観察会は、「スプリングエフェメラルで春を満喫」。講師は、昨年まで霞ヶ浦環境科学センターで植物の野外講座を担当されていた福田良市さん。快晴に恵まれ、絶好の散策、植物観察日和。車内で福田先生から今日の見所、パートナーの有吉さんからテーマ植物、ネコノメソウ、ニリンソウの説明がありました。

現地のスタート地点から宝篋山を皆さんで眺望。福田先生から、淡く見える色はコナラ、クヌギの新緑、濃い緑はスギ林で、じめじめした場所を好むので、沢筋がわかる。松は乾燥した場所を好むなどの解説がありました。植物群落の景観的な特徴から、個々の植物の説明、変わった性質の紹介など多岐に渡る内容でした。

植物好きな参加者の方は、散策路に入るまえから、次々と植物をリストアップ、沢筋にはいると、一つ目のテーマ植物であるネコノメソウが出てきました。ほかにもウラシマソウやツクバトリカブトなど、いろいろな植物に出会いました。

沢のせせらぎが聞こえる新緑の下で昼食を終え、常願寺コースから純平歩道、極楽寺コースと、新たな植物との出会いを求めて観察を続けました。極楽寺コースでは有名な太郎コブシやもうひとつのテーマ植物のニリンソウの群落に出会いました。参加者のアンケートには、印象に残った植物として、ニリンソウ、シロボウエンゴサク、オドリコソウ、ミヤマシキミ、タニギキョウ、ハウチャクソウ、ネコノメソウ、イズセンリョウ、ウワミズサクラ、ウラジロ、ツクバキンモンソウ、タロウコブシ、チゴユリ、ハナイカダ、クロモジ、アカフタチツボスミレ、ツクバトリカブト、ユリワサビ、スミレ類各種との回答がありました。

予定より 1 時間近く遅れて小田の休憩所に戻りました。福田先生の楽しい解説と、多くの植物に出会えたこと、また新緑と沢の水の流れに癒され、観察会を終えることができ、ほっとしました。参加者の皆さん、福田先生、有吉さんはじめパートナーの皆さん、お疲れ様でした。今年の霞ヶ浦自然観察会はいろいろな生き物を対象にその時期にあった観察をする予定です。今年度の自然観察会、よろしくお願ひします。

環境活動推進課 福井正人

観察した植物の一部を御紹介します。(撮影・協力：パートナー・有吉さん)
福田先生から宝篋山の景観についてのご説明。



今月の課題植物1 「二輪草」



「猫の目草」



ニリンソウ (キンポウゲ科) 多年草



ネコノメソウ (ユキノシタ科) 多年草



ウワミズザクラ (バラ科) 落葉高木
今回観察した植物は合計 170 種 (およそ) でした。



ミヤマシキミ (ミカン科) 常緑低木